



宮内こども文化センター編

# 「シェアドッグ ~犬とのふれあい交流会~」



川崎市中原区の宮内こども文化センターでは、NPO法人シェアドッグスクールの方を講師に、子どもたちが犬とのふれあいを通じその暖かさに触れ、命の尊さを実感することを目的として「シェアドッグ~犬とのふれあい交流会~」を実施しました。「シェアドッグ」は昨年度からの試みとして、同じ中原区の新丸子こども文化センターで初めて実施され、子どもたちの反応や評価がとてもよかったことから、今年度は宮内こども文化センターでも実施されることになりました。

始めに講師の方から犬に触るためのルールを教えてください、クイズに挑戦しながら犬についての知識を深めたあと、5匹の犬たちを迎え入れると、子どもたちの中には、おっかなびっくりでなかなか思うように犬に触ることのできない子もいましたが、講師の方から教わったことを実践することで少しずつ慣れ始め、いつの間にか笑顔が見られるようになりました。最後にはどの子どもたちも、やさしく話しかけたり、愛おしそうに撫でたりしながら、犬とのコミュニケーションを深めることができていました。

当財団では、今後も地域で活躍されている様々な団体の方々と連携し、子どもたちに多様な経験の機会を提供します。

犬はとってもあったかくて、ふれ合うとやさしい気持ちになれたね。

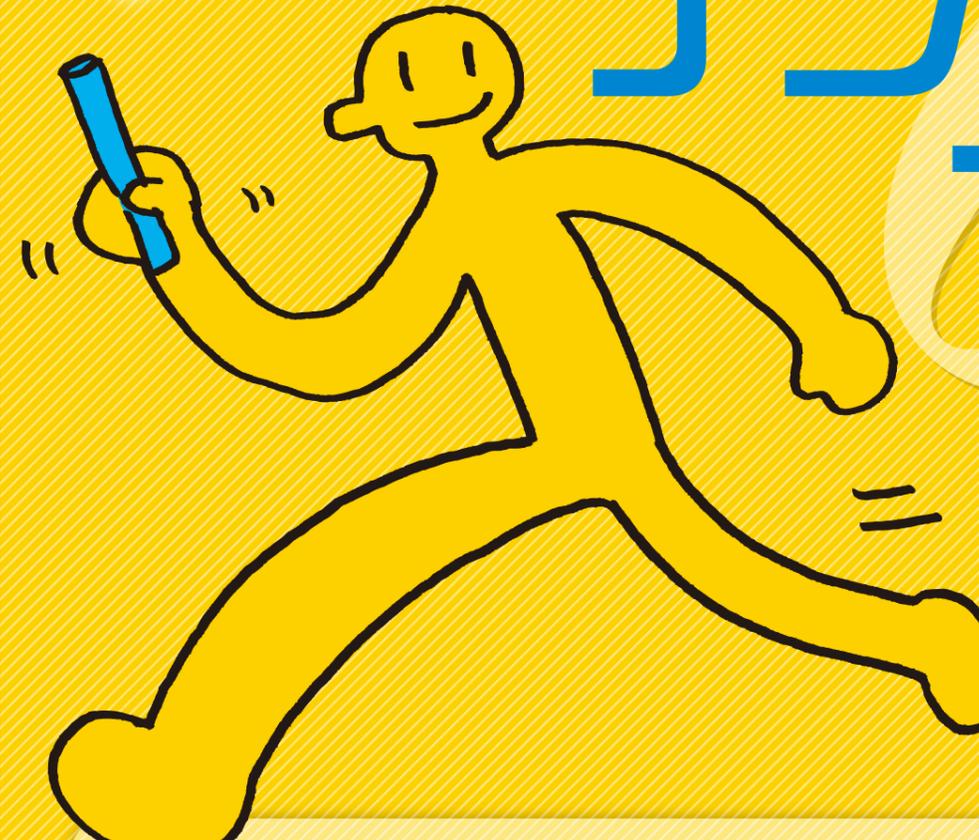


※こぶんたは、当財団が管理運営するこども文化センター52館のイメージキャラクターです。



2018年 盛夏号(通巻No.279)

# ナンバーゼロ



INDEX  
目次

- P2 賢く使おう! 広報ツール
- P3 ボランティア・市民活動のためのパワーアップセミナー
- P4 こぶんたが行く! 宮内こども文化センター編

## 市内の活動を紹介します



### 川崎市視覚障害者情報文化センター

このセンターでは、大きく分けて三つの事業を行っています。

- ①点字や音声で読むことができる本を製作し、無料で貸し出しています。
- ②目の不自由な人が生活するために必要な訓練(歩行訓練・パソコン訓練・点字訓練など)をしています。
- ③目の不自由な人の生活に役立つ、色々な品物を販売しています。

このほかに、音声ガイド付き映画の体験上映会やコンサート、読書会、ヨガ体験会など、さまざまなイベントを行っています。今年の秋からは右記講座を開催いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

### 【音訳者(朗読者)養成講座】

視覚障害者などの読書が困難な方のために録音図書があります。その図書を朗読するボランティアをはじめませんか。この養成講座では、朗読を一通り教えますので、初めての方にも丁寧に指導いたします。8月25日(土)10時から説明会を行いますので、お気軽にお申し込みください。

- 日 時:9月27日(木)~2月21日(木) 木曜日13時30分~16時30分 全16回
- 場 所:川崎市視覚障害者情報文化センター (JR川崎駅、京急八丁駅)
- 費 用:無料 ●定員:10名 ●締切:8月19日(日)17時
- 申込先・問合せ:川崎市視覚障害者情報文化センター 〒210-0026 川崎市川崎区堤根34-15 ふれあいプラザかわさき3階
- 電 話:044-222-1611 ●FAX:044-222-8015
- メール:kawasaki-icc@kawasaki-icc.jp

## 大判印刷機を導入します

センターの印刷室に、大判印刷機を今年度試験導入致します。印刷サイズは、最大A1、または3mまでの横断幕を印刷することができます。



大判印刷機本体



パソコンから操作します。



A1とA4の比較  
モデル:自称・夢見ヶ崎動物公園専属アイドルGABUのみなさん



情報提供面積は、A4の8倍!

印刷価格	
A1:	550円/1枚
A2:	280円/1枚
横断幕:	550円/1mまで
以降:	280円/50cmごとに

※上記価格は、普通紙の場合です。

※試験導入期間は、2018年7月1日より2019年3月31日までとなります。 ※大判印刷機ほか印刷室をご利用頂くには、事前に団体登録が必要となります。 ※大判印刷はPDFファイルからのみになります。また、印刷を行うには、条件や制約事項がありますので、職員まで事前にご確認下さい。

### 【ありがとうございます】

去る6月4日、川崎市消費者の会の方々が来所されました。先日、会を解散して会計を閉めた残金、39,080円を当センターに寄付いただきました。

川崎市消費者の会は、1969年11月に設立、講演会、学習会、リサイクル活動など、49年にわたって活動されてきました。会員が高齢化し、後継者不足による解散だということです。毎年「ごえん楽市」にはエゴソウり教室、フリーマーケットで出展されていました。長年にわたる活動、お疲れ様でした。



予告  
恒例  
ごえん楽市  
(かわさきボランティア・市民活動フェア)  
今年度は、かわさき市民活動センター・中原市民館で2019年2月2日(土曜日)に開催します。

予告  
かわさき市民活動センターの  
ボランティア・市民活動のための  
パワーアップセミナー  
会場:エボック中原(武蔵中原駅徒歩1分)  
●10/20日 13:30~16:30  
団体のための会計事務・簿記の基本(仮)  
講師●未定  
●12/1日 13:30~16:30  
社会を変えるNPO評価  
-成果を出せる事業のロジックモデル(仮)  
講師●初川一昭さん 武蔵大学社会学部メディア社会学科教授  
※お申し込みは先着順、単回のみ受講も歓迎します。

### ■ご案内 MAP



ナンバーゼロ 2018年盛夏号(通巻No.279)  
【編集・発行】  
公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課  
〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12  
電話:044-430-5566 FAX:044-430-5577  
メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp  
WEB:http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/

Facebookでも情報を発信しています。  
https://www.facebook.com/kc.ac.suisin/

ポータルサイト「応援ナビかわさき」  
http://kawasaki.genki365.net/

◆2018年初夏号は、6名の発送作業ボランティアの方にお手伝いいただきました。

# 賢く使おう! 広報ツール

団体の活動やイベント案内などを伝えるための手段はさまざまです。それぞれの特徴を知り、目的、対象に合わせたツールを使うことが効果的な広報につながります。

紙媒体

インターネット

## ◆リーフレット

- ・A4用紙三つ折りが多い
- ・団体の目的や事業、会員募集などをコンパクトに伝えられる
- ・持ち運びに便利
- ・長期間使用できるものにするには、団体での十分な話し合いが必要のため、作成に時間がかかる



## ◆チラシ

- ・イベント、講座等の案内に向いている
- ・A4サイズがメイン
- ・配架場所を考慮し、デザインを決める必要がある
- ・両面を使い、必要な情報(日時・内容・連絡先・地図など)が盛り込める



## ◆定期刊行物・事業報告書

- ・A4で4ページ、8ページ、冊子など形態はさまざま
- ・団体について、取り組んでいる事業についてじっくり伝えられる
- ・支援者、サポーターを増やすツールにもなる



## ◆名刺

- ・小さいが、連絡先の交換に役立つので、交流会などで大勢の人と会うときは必須のアイテム
- ・個性的な名刺は覚えてもらいやすい

## ◆SNS

利用者が急増しているツール。情報収集、連絡手段に使用され、拡散力が高い。

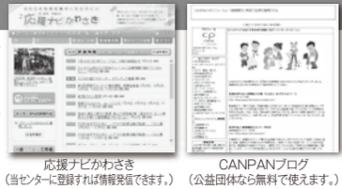
- ・Facebook(フェイスブック): フォーマルな近況報告によく使用されている。
- ・Twitter(ツイッター): 情報収集によく使用されている。拡散力が高い。
- ・Instagram(インスタグラム): 写真や動画の投稿に特化したSNS。
- ・LINE(ライン): プライベートな連絡に使用されることが多い。モバイルユーザーが多い。

	f	t	i	l
国内ユーザー数	2,800万人	4,500万人	2,000万人	7,500万人
コンテンツの種類	・テキスト ・カルーセル ・リンク ・動画・LIVE対応 ・ストーリー(24時間限定)	・テキスト(英数字は最大280文字) ・リンク ・動画 ・LIVE対応	・画像・カルーセル ・動画 ・ストーリー ・ストーリーでLIVE配信可能	・テキスト ・画像 ・リンク ・LINE LIVEでLIVE配信可能
特徴	・コンテンツの豊富さ ・フォーマット ・ターゲットの幅	・リアルタイム性 ・拡散性の高性 ・ハッシュタグ	・写真や動画がメイン ・世界的な拡散性 ・アクティブユーザーが多い ・ハッシュタグ	・メッセージとタイムライン ・通知機能 ・スタンプが豊富 ・トークや通話などもモバイルでのアクティブユーザーが多い

https://blog.comneco.jp/we-look-social ※2018年6月時点

## ◆ホームページ・ブログ

- ・団体名で検索してすぐに見つかることは必須になってきた
- ・紙媒体と違い、見やすく構成すれば、大量の情報を盛り込め、過去の記録の倉庫にもなる
- ・ある程度の知識が必要



## ◆メールマガジン

- ・費用をかけずに、イベント情報などを伝えられる
- ・まずは関心ある人(例: イベントでアンケートに連絡先を書いた)を集め、名簿管理をしっかり行う

# 大学と連携して広報を支援

かわさき市民活動センターでは、専修大学ネットワーク情報学部の学生(2年次履修「応用演習(メディア・プロデューズ)」)と市内で活動する市民活動団体との連携事業を実施しています。市民活動団体の「広報力の向上」と、学生の「着想・表現方法およびコミュニケーション力の向上」を主な目的とした事業で、学生は、市民活動団体への取材活動を行い、専門知識・技術を実践的に学びながら、各市民活動団体を紹介する映像・紙媒体(リーフレット)・WEB(ホームページ)を制作します。これまで8年間で85団体に参加いただいております。以下のようなコメントをいただいております。

- 「私達では到底考えられない素晴らしい作品(広報ツール)が、学生さんたちからの提案により出来上がったと思います。」
- 「異なる世代の異なった視点での考えをすり合わせ、成果に結びつけられたと思う。」
- 「複数のパターンを提案してくださったり、選択肢を用意してくださったことがありがたかったです。修正などの対応もスムーズでした。感謝しています。」
- 「若い方が見ること前提にわかりやすく、明るい作品をつくっていただきました。つくっていただいた作品を育てていきたいと思っています。」

今年度も以下の10団体にご参加いただき、活動スタートしました!

- つばき学習会 かわさき・食と農のコミュニティ 川崎中原の空襲・戦災を記録する会 おもちゃと遊びの会 NPO法人科学実験教室サポーター・くじら
- 4丁目子ども食堂の会 特定非営利活動法人 神奈川県相続成年後見協会 特定非営利活動法人VFPC Physical Factory ちえままさん

広報に役立つ!

# ボランティア・市民活動のための パワーアップセミナー

広報連続講座第3弾

## 「必ず集客できる チラシの秘密」

9/8(土) 13:30~16:30

“チラシを作ってもなかなか人が集まらない”そんなお悩みを持つ市民活動団体さん必聴! お金をかけずに効果的な集客をすることは誰でも可能です。本講座で集客チラシの作成術をマスターしましょう。



- 講師:野竿達彦さん
- 株式会社Y-プロデュース 代表取締役

広報連続講座第4弾

## 「団体の魅力を伝える 三つ折りパンフ」

9/29(土) 11:00~16:30(途中昼食休憩あり)

読み手の心をキュッとつかむ三つ折りパンフの作り方をワークを交えて講義します。



- 講師:林田全弘さん
- 株式会社ガ/ハ 小さなNPOを応援するグラフィックデザイナー

両講座共通

対象 川崎市内のボランティア・市民活動団体・市民活動に参加している方、団体を立ち上げる予定の方

※お申込みが多数の場合は市内で活動している方を優先させていただきます。

定員 20名(申込み先着順) 参加費 500円 申込 ①氏名 ②住所 ③電話 ④所属団体名 ⑤FAX(ある方) ⑥メールアドレスを明記の上電話・FAX・メールにてかわさき市民活動センターまで申込みください。

## パワーアップセミナー 参加レポート

# 「Webマーケティング デジタルファンドレイジングの第一歩」

広報連続講座第2弾

「Webマーケティング」と「デジタル・ファンドレイジング」の入門講座が、6月16日(土)当センター会議室で開催されました。講師は、ソーシャルメディア活用コンサルティングを手がける株式会社ループス・コミュニケーションズの加藤たけしさんです。

### Webマーケティング4つの特徴

加藤さんによると、Webマーケティングのメリットは4点。①マンパワーは必要だが、それ以外は、ほぼコスト0でも取り組めること。②Webサイト上でのユーザーのアクションが数値化されるので、施策の成果や費用対効果が検証しやすいこと。③効果測定を踏まえて次の施策を考えることができるので、PDCAサイクルが回しやすいこと。④Webサイトは基本的にはクローズする必要がないため、その取り組み全てが資産になること。

### 見てほしい人は誰なのか

Webマーケティングに於いては、集客したい対象者をどこまで明確にイメージできているかが重要であるとお話でした。いわゆるペルソナの明確化です。年齢や性別などの情報はもちろん、行動、思考、感情等も含めて明確にすることの必要性を加藤さんは、強調されました。

ソーシャルメディアを使う場合、どういう目的で そのソーシャルメディアを活用したいのか。ユーザーの使い方、ユーザー属性、集客施策等も踏まえ、そのソーシャルメディアを使うことが適当かを検討する必要性の指摘がありました。企業が提供している非営利団体向け支援プログラムを活用することも検討してはどうかとの提案もありました。

### Webを利用した寄付獲得「デジタル・ファンドレイジング」

ドナージャーニーは、ファンドレイジングにおいてマーケティング理論における「カスタマージャーニー」を応用して、寄付者が寄付に至るまでの行動や心理を分析して、潜在的支援者に対する最適な働きかけをしていこうという考え方です。そのドナージャーニーを可視化したものが「ドナージャーニーマップ」であり、ファンドレイジングに役立つツールであると説明がありました。

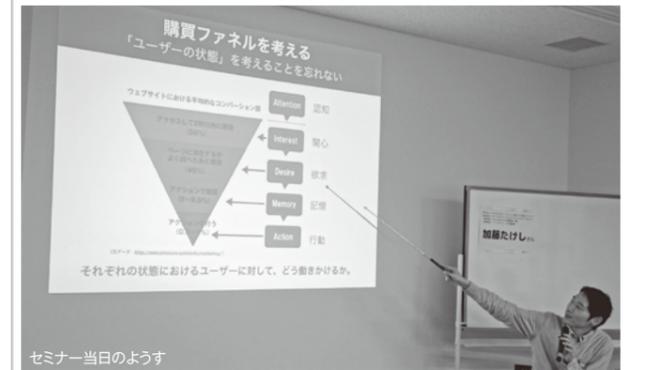
### おさえるべき3つの「大切なこと」

まとめとして3点。①事例をもとに、自分たちなりの「戦略」「戦術」を

「全体設計」すること。②行った方が良い「施策」はたくさんあるが、全てをできるわけではないので「目的」に応じて「施策」を「取捨選択」すること。③「PDCA」を廻し「続ける」こと。

「好きこそもの上手なれ」「仕事とプライベートの境目がかなり曖昧になっている」という加藤さんならではの、広い知見に基づく講演に、参加者の満足度も高かったと思われます。

(職員:野口)



セミナー当日の様子

# NPO法人設立事務説明会

NPO法人を設立するときに必要な書類、手続きについての説明会を開催します。(要申込/20名(各団体2名まで/先着順))

- 日時・場所:9月26日(水)午後2時~午後4時 多摩区役所11階1102会議室
- 申込方法:電話、FAX、市ホームページ内専用フォームによる申込み
- 問い合わせ先:川崎市市民文化局市民活動推進課 電話044-200-2341 FAX 044-200-3800
- 主催:川崎市 協力:公益財団法人かわさき市民活動センター